

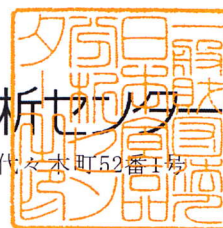
試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 東洋厚生製薬所

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 白金・パラジウムコロイド溶液

表 題 抗菌力試験

2016 年(平成 28 年)10 月 26 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

抗菌力試験

1 依頼者

株式会社 東洋厚生製薬所

2 検 体

白金・パラジウムコロイド溶液

3 試験概要

検体に試験菌液を接種後(以下「試験液」という。), 所定時間後に試験液中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。また, 培養後の生菌数測定平板を写真-1~7に示した。

なお, 試験液をSCDLP培地で10倍に希釈することにより, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを予備試験により確認した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数 (/mL)			
		開始時	1分後	3分後	5分後
ヒロリ菌	検 体	—	1.4×10^5	5.8×10^4	5.4×10^4
	対 照	3.1×10^6	7.9×10^6	1.9×10^6	5.4×10^6

保存温度 : 20 °C

対照 : 生理食塩水

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	Helicobacter pylori JCM 12093(ピロリ菌)	
	試験菌を5 %馬脱繊維血液加Blood Agar Base No.2(0X0ID)で37℃±1℃, 3〜4日間微好気培養後, 再度5 %馬脱繊維血液加Blood Agar Base No.2で37℃±1℃, 3〜4日間微好気培養し, 生理食塩水に浮遊させ, 菌数が10 ⁸ 〜10 ⁹ /mLとなるように調製した。		
試験液	検体10 mLに試験菌液0.1 mLを接種		
保存条件	1分, 3分, 5分(20℃±1℃)		
対照	生理食塩水		
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で10倍希釈		
生菌数測定	5 %馬脱繊維血液加Blood Agar Base No.2, 平板塗抹培養法		37℃±1℃, 7日間微好気培養



写真-1 ピロリ菌 対照 開始時
(試験液 0.01 mL)



写真-2 ピロリ菌 検体 1分後
(試験液 0.01 mL)



写真-3 ピロリ菌 対照 1分後
(試験液 0.01 mL)



写真-4 ピロリ菌 検体 3分後
(試験液 0.01 mL)



写真-5 ピロリ菌 対照 3分後
(試験液 0.01 mL)



写真-6 ヒロリ菌 検体 5分後
(試験液 0.01 mL)



写真-7 ヒロリ菌 対照 5分後
(試験液 0.01 mL)

以 上